

# 平成27年度 社会福祉法人三恵会事業報告書

## 1. 事業概要

特別養護老人ホームを中核とし、ショートステイ、ディサービス、在宅介護支援センター、ホームヘルプサービス、居宅介護支援事業所、養護老人ホーム等の社会福祉事業を行い、お年寄りの介護を通して、地域の方々の生活を援助しています。

## 2. 理事会及び評議員会

第1回 平成27年5月24日(日) ひかわ会議室

1. 平成26年度事業報告
2. 平成26年度収支決算審議及び監査報告
3. その他

参加者 評議員12名、理事6名、監事1名、事務局2名

第2回 平成27年11月8日(日) ひかわ会議室

1. 任期満了による役員変更について
2. 監査役員選出について
3. 理事長の選出及び理事長の職務代理者の指名
4. 平成27年度1次補正予算について
5. 富士見園の施設整備積立金とひかわの修繕積立金の承認について
6. その他

参加者 評議員13名、理事6名、監事1名、事務局2名

第3回 平成28年3月15日(日) ひかわ会議室

1. 平成27年度2次補正予算について
2. 平成28年度事業計画と収支予算について
3. 施設整備積立金積立の承認
4. 就業規則、給与規定の変更について
5. さいたま市監査指導課、保健所、消防署の指摘事項について
6. 三恵会経理事務委託について
7. その他

参加者 評議員13名、理事5名、監事2名、事務局2名

## 3. 監査会

平成27年5月19日(火) ひかわ会議室に於いて

1. 平成26年度収支決算の監査

参加者 監事1名、事務局3名

## 特別養護老人ホーム三恵苑事業報告

### 1. 事業概要

人生の最後を悔いなく、楽しく送って頂けるように。

そして『あたり前な生活が出来るように』特養入居者 60 名と短期入所者 20 名のお年寄りの生活を支援しています。

### 2. 月間利用者延人数

(特養・短期合計)

26 年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	2,256	2,422	2,371	2,449	2,453	2,270	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2,302	2,298	2,354	2,332	2,153	2,364	28,024
27 年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	2,327	2,340	2,288	2,355	2,383	2,353	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2,390	2,377	2,454	2,449	2,396	2,395	27,431

### 3. 入退苑の状況

性別	年齢	介護度		性別	年齢	介護度	
女	75	4	苑にて逝去	女	90	4	病院にて逝去
女	84	5	苑にて看取り	女	92	5	苑にて看取り
男	89	4	病院にて逝去	男	90	4	病院にて逝去
女	87	4	病院にて逝去	女	92	5	病院にて逝去
女	102	5	苑にて看取り	男	74	1	苑にて看取り
女	98	2	苑にて看取り	男	95	4	病院にて逝去
女	92	4	苑にて看取り	男	91	4	病院にて逝去
女	94	3	苑にて看取り	男	88	5	苑にて看取り
女	84	4	苑にて看取り	男	85	5	病院にて逝去
女	85	5	苑にて看取り	男	76	5	病院にて逝去
女	94	4	苑にて看取り	男	72	4	病院にて逝去
女	104	5	苑にて看取り	男	89	4	病院にて逝去
男	83	5	苑にて看取り	退所者平均年齢 88.8 歳			
女	105	5	苑にて看取り	看取り 昨年度 2 名 今年度 14 名			

### 4. 在苑者の年齢構成

(3月末日現在)

	~69	70~ 74	75~ 79	80~ 84	85~ 89	90~ 94	95~ 99	100~	平均	最高齢
男	2	3	5	1	2	2	0	0	77.5	92
女	2	3	5	9	11	10	5	0	85.3	97
計	4	6	10	10	13	12	5	0	83.4	97

## 5. 入居者の介護度別人数

(3月末日現在)

介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	平均介護度
26年	2	6	15	21	16	3.72
27年	2	5	15	22	16	3.75

## 6. 事業所で行ったこと

4月	お花見の会、	10月	運動会、バスハイク
5月	端午の節句	11月	焼き芋会、外注食会
6月	外注食会	12月	クリスマス会、餅つき
7月	納涼祭	1月	新年の集い
8月	七夕の会、入居者健康診断	2月	節分の会
9月	敬老会	3月	ひな祭りの会

- その他毎月、ホーム喫茶、手作りおやつ、クラブ活動（書道クラブ、民謡クラブ、クレヨンクラブ、お花クラブ、ハンドベルクラブ）お誕生日企画を行いました。

## 7. 職員の状況

(特別養護老人ホーム、短期入所事業所の合計)

職名	人数		兼務の状況	性別	資格	
	常勤	非常勤				
施設長	1			男	社会福祉主事	
事務員	1			女	衛生管理者、NLP-2	
事務員		1		女	社会福祉主事	
相談員	1		○	男	介護支援専門員、介護福祉士	
ケアマネ	1		○	男	介護支援専門員、社会福祉士	
主任	1			男	介護福祉士	
主任	1			女	介護福祉士	
リーダー	2			女	介護福祉士	
介護職	7	7		女	介護福祉士	
介護職	10	1		男	介護福祉士	
介護職	1			女	介護職員実務者研修	
介護職	1			男	介護職員初任者研修	
介護職		1		女	介護職員初任者研修	
介護職	2	1		女		
看護師	1			女	正看護師	
看護師	1	2		女	准看護師	
看護師		1		女	派遣職員（正看護師）	
栄養士	1			女	管理栄養士	
介助員		2		男		
介助員		1		女		
洗濯		3		女		
宿直員		3		男		
合計	32	23	介護職員：入居者数 = 1 : 2.22			

## 8. 各委員会

職員による各種委員会活動があります

- ・安全対策委員会   ・ケア向上委員会   ・身体拘束委員会   ・褥瘡対策委員会
- ・マニュアル委員会   ・衛生管理委員会   ・感染症対策委員会

## 9. 基本目標（重点課題）に対する自己評価

<b>特養</b> 基本目標	「安心・安全・穏やかな生活」が送れるようする
重点課題	① 状態把握に努め個々に合ったケアを行い、笑顔に満ちた生活を送ってもらう（個別ケアに努める） ② 一人一人、基本を大切にし、技術向上に努め、思いやりを持って対応する （職員全体の介護技術向上に努める）
評価	① 多床室の流れ作業的な状況はあるが、その中でも一人一人に合った声かけや、介護は出来つつある。 ② 職員一人一人に合った外部研修を心がけ、職員の向上に努めている。又、リフト等の福祉用具を導入している。
<b>医務室</b> 基本目標	① 利用者が高齢化とADLの低下で重度化している為、常に日常の健康管理を行い、異常の早期発見対応が出来るようにする。 ② 職員の健康管理につとめる。
重点課題	① 状態把握に努め、利用者一人一人に対し、職員全体が共通認識を持てるよう、情報伝達に努める。又、本人、家族の希望に添える看取りが行なえる様に普段から情報収集に努める。 ② 職員一人一人に声をかけ変化の把握に努める。
評価	① 今年は看取り対応の方が多く、それぞれ家族に報告・確認を取り対応を奨められた例が多かった。しかし入院から療養で長期化し退所する方も多かった。 ② 個々の健康管理も出来、報告から対応も問題なく出来てきている。
<b>厨房</b> 基本目標	安全で季節を感じられ、生活の活力、生き甲斐を感じられるお食事を楽しむことができる。
重点課題	① 多職種と連携を図り、個人の栄養状態と摂食嚥下機能に合わせたお食事を提供します。 ② ご利用者様の食事に対する楽しみや満足度が向上するように努めます。（調理技術の向上、行事食・バイキング等のイベント食の充実）
評価	① 個人対応については、形態を下げるだけではなく、向上についても対応できた。看取りの利用者様については、最期に口にするお食事をご本人の好物を提供する等の配慮がもっと必要だと思う。 ② 調理師の調理技術が向上しており、ご利用者様に満足していただけるお食事が提供できることが多かったと思う。

# 養護老人ホーム富士見園事業報告

## 1. 富士見園基本方針

- 1 利用者の皆さんの自立と個人の尊重を重んじ、生きがいを持ち、安心して楽しい生活が出来るように支援します。
- 2 職場の将来展望において、職員全員が共通意識のもと、意識改革と自己研鑽を積み、働く喜びを共に感じられる職場にします。
- 3 一施設としての事業展開にととまらず、広く地域の福祉推進者としての視点を常に持ち行動します。

## 2. 入所者の状況

### 1) 実施機関別在園者数

H28.4.1 現在

機関 性別	大宮区	西区	北区	見沼区	中央区	桜区	浦和区	南区	緑区	岩槻区	熊谷市	蓮田市	富士見市	志木市	合計
男	10	5	13	8	2	0	1	0	0	2	0	1	1	0	43
女	7	12	6	12	2	1	2	0	1	0	1	0	1	0	45
計	17	17	19	20	4	1	3	0	1	2	1	1	2	0	88

### 2) 年齢別在園者数

各年度末調べ

年 度	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女
65歳以下	0	1	0	1	0	0	1	0
65～70	4	4	2	4	2	4	2	2
71～75	8	6	10	5	7	6	8	5
76～80	18	6	11	7	11	9	11	9
81～85	8	16	16	13	14	9	5	13
86～90	2	5	3	9	3	10	15	10
91～99	0	6	1	7	1	10	1	6
100歳以上	0	1	0	0	0	0	0	0
計	40	45	43	46	38	48	43	45
総 計	85名		89名		86名		88名	

※平均年齢 男 79.5 歳 女 83.1 歳 平均 81.3 歳 最高年齢 男 92 歳 女 98 歳

3) 月別入・退所者状況

H27年度分

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
在籍		90	88	88	86	87	86	85	88	86	86	88	88		
入園	男	1	0	0	0	2	0	0	3	0	0	1	0	7	12
	女	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	1	0	5	
退所	男	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	5	13
	女	0	1	0	2	2	0	1	1	1	0	0	0	8	

4) 退所事由別

H27年度分

性別	年齢	死亡	施設替え (特定施設等)	入院 (措置切れ)	家庭復帰	計
男		2	1	1	1	5
女		4	2	1	1	8
計		6	3	2	2	13

5) 入園前の居所別

H28.3末現在

性別	居所	家庭					小計	病院 老健	施設 (救護) (厚生) (身障)	その他	計	
		配偶者	子供	兄弟 姉妹	その他 の親族	ひとり 暮らし						その他 雇主等
男		1	4	1	1	25	1	33	2	1	7	43
女		0	10	3	3	27	0	43	2	0	0	45
計		1	14	4	4	52	1	76	4	1	7	88

6) 在園期間別

H28.3末現在

性別	居所	1年未満	1年	2年	3年	4年	5年	6~9	10~14	15~19	20年以上	計
	男		6	4	3	6	3	4	11	5	0	1
女		5	4	3	1	1	4	12	11	4	0	45
計		11	8	6	7	4	8	23	16	4	1	88

平均在籍年数 6.5年

## 7) 介護保険認定状況

H28.4.1 現在

区分	要支援 Ⅰ	要支援 Ⅱ	要介護 Ⅰ	要介護 Ⅱ	要介護 Ⅲ	要介護 Ⅳ	要介護 Ⅴ	合計
男	2	1	12	2	3	0	0	20
女	4	5	6	9	1	2	0	27
計	6	6	18	11	4	2	0	47

## 3. 基本目標（重点課題）に対する自己評価

基本目標	計画的な施設整備と徹底した維持管理を実施していきます。
重点課題	①利用者が安全且つ快適に生活できる施設環境を提供するために計画的な施設整備と維持管理の徹底を積極的に実施していきます。 ②利用者個々のニーズや状態に合わせた居室整備を行い、より良い生活環境を提供していきます。
評価	①大きな修繕等は無かったが、安全と快適に過ごせる環境作りを意識し出来る限りの対応を実施した。 ②住環境をより快適にするため、利用者の希望を重視し居室内の改善に努めた。
基本目標	自立した生活が継続できるようよりの確な利用者支援を実施していきます。
重点課題	① 園全体の業務内容及び提供時間等の見直しを行い支援サービスが的確に実施出来るように努める。 ② 利用者個々の状態やニーズに応じ必要なサービスを具体的に提供できるように努める。
評価	①一般利用者へ自立支援の強化を図った。機能維持・改善を目的にゲームや園外散歩など積極的に参加を呼びかけた。健康意識が高まりウエルネス運動教室への参加者が大幅に増えた。 ②ケース検討会、勉強会を定例化しサービスの向上とスキルアップを行った。
基本目標	全職員の研修会参加を計画し、職員のスキルアップを図ります。
重点課題	① 年間研修計画に基づき全職員の研修会等への参加を実施し職員の専門的知識・技術の習得、資質の向上に努めます。 ② 各職員の「チャレンジプラン」での能力開発目標に基づき、職員の資格取得やスキルアップのための研修会・講習会への参加を推進します。
評価	① 年間研修計画に基づき全職員研修参加を実施した。 ② 養護分科会による施設見学、職種別研修は普段得られない貴重な研修であった。
基本目標	防災体制・感染予防対策の整備強化を実施します。

重点課題	① あらゆる災害に対応できるよう防災対策の整備と強化を図ります ② 災害時に必要な給食給水及び資機材配備の整備を行います。 ③ 緊急時の対応が迅速且つ的確に実施出来るための訓練・講習会を実施します。 ④ 感染予防対策の強化と見直しを行います。
評価	①本年度も介護職員が中心となり炊出し訓練を実施した。 ②感染症対策を早期に徹底した。利用者のインフルエンザ感染者は少なかったが、3月中旬より風邪症状を訴える方が例年より多かった。
基本目標	地域に密着した福祉拠点を目指していきます。
重点課題	① 地域福祉の拠点として施設の役割・機能を最大限発揮していきます。 ② 地域との交流を積極的図り、地域との連携と協力体制をより深めていきます。 ③ 介護体験や社会化体験などを目的とした研修生、実習生を積極的に受け入れていきます。又、ボランティア等の活動についても内容・目的など調整し受け入れしていきます。
評価	①お花見の会は天候不順のため室内での開催となったが、納涼祭は天候に恵まれ地域の皆様をお招きして盛況に開催することが出来た。 ②健康意識の高まりウエルネス倶楽部への運動教室開催依頼が多く寄せられた。本年度は認知症予防へ向けた運動として頭と身体への課題を同時に行う「コグニサイズ」取り入れ好評を得た。

#### セクション別 基本目標（重点課題）評価

養護 基本目標	ADL・IADL の低下を防ぐ為にも、出来ることは継続して頂き、出来ない事も少しずつ出来る様、自立に向けて支援していく。
重点課題	・新しく入所された方達も、IADL の低下・認知が見受けられる方が多い為、相手の状態を把握し、十分気を付けて対応していく。 ・感染症対策をしっかりと行っていく。（うがい・手洗い・水分補給等）
評価	・施設では出来るもの・出来ないものはあるが、新しく入所された方達のニーズに少しでも対応する事ができたと思う。 ・今まで普通に行えていたものが、だんだん出来なくなっている方が増えてきているが、対応策を検討し、支援員の協力により行えている。 ・利用者でインフルエンザ感染者が1名出てしまったが、感染症対策はしっかりと行っていた為か感染拡大は防げた。
特定 基本目標	利用者の意思、自己決定を尊重した生活支援
重点課題	・アセスメント、モニタリングによるニーズの把握 ・信頼関係の維持・報・連・相の徹底
評価	新規利用者・4名おられ、それぞれのニーズに沿った支援は行えたと思



	う。サービス提供一ヶ月で介護度が変更になり、望まれていたディ利用が出来なくなった事は残念だった。更新期の新規提供は十分注意をしたい。
訪問 基本目標	個人の生活スタイル尊重し穏やかに毎日を過ごし健康的な日常を見守りお手伝いして行く。
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室は個人の生活空間である為、個人のプライベートな部分を尊重していく。</li> <li>・ADLの進行を極力抑えるよう、手作業・歌など積極的に行い参加を促していく</li> <li>・各セクションと連絡を密にして事故・ヒヤリハットを未然に防いでいく</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室移動などで環境が変わり身体的・精神的にも変化が見られるかと心配したが大きな変化は見られず安心した。</li> <li>・手作業・歌などもそれぞれ興味がある方や得意な所は行えて楽しんで貰えた。</li> <li>・ヒヤリハットは決まった方が多く今後も課題とし検討が必要。</li> </ul>
医務室 基本目標	個人差はあるが今の状態維持
重点課題	・園の食事摂取 運動 抵抗力をつけ免疫力をアップする
評価	外部販売のパン屋がなくなり園の食事摂取するようになり残渣量も多少減ってきて、感染症も1名、免疫力ついてきています。手洗いの講習も2回開催、定着してきたと思う。
厨房 基本目標	衛生に配慮し、ひとりでも多くの方に喜んで頂ける食事作り
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生知識の確立</li> <li>・厨房職員・同居家族の健康管理（報告の徹底）</li> <li>・薄味の食事作り</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生知識の確立については、今後も継続して行く。作業が混んでくると作業動線や二次汚染に対しての衛生管理が、どうしても薄れていくので調理中の業務の量に関わらず、今後の課題とする。</li> <li>・健康管理（報告の徹底）については同居家族の体調不良の報告については、出来ていた様に思うが、各自の健康管理については今後も継続し体調不良の際は速やかに報告する様徹底したいと思う。</li> <li>・薄味の食事作りについては、今後も継続して行く。</li> </ul>

## 特別養護老人ホームひかわ事業報告

### 1. 事業概要

1. 利用者、一人ひとりに合った援助を心がけ、ひかわでよかったと、利用者とその家族に思ってもらえるよう努力します
2. 施設の全体行事として、あおぞら市・納涼大会・敬老会を行なう

### 2. 月間利用者数 (特養、短期合計)

26年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	3,432	3,646	3,560	3,622	3,633	3,561	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	3,684	3,484	3,540	3,481	3,238	3,500	42,381
27年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	3,360	3,493	3,419	3,468	3,533	3,431	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	3,504	3,370	3,527	3,519	3,332	3,506	41,462

### 3. 退所の状況

退所者 23名 (昨年度 21名)

性別	年齢	介護度		性別	年齢	介護度	
男	84	3	病院	男	83	4	病院にて死亡
女	97	4	病院にて死亡	女	89	2	看取り
男	82	4	病院にて死亡	女	89	2	病院にて死亡
男	88	1	看取り	女	97	5	看取り
女	82	5	病院にて死亡	女	85	5	病院
男	89	5	病院	女	97	2	病院にて死亡
男	92	3	病院にて死亡	男	74	5	病院にて死亡
女	97	4	看取り	男	95	3	病院にて死亡
男	94	2	病院にて死亡	男	84	5	病院にて死亡
女	91	3	病院にて死亡	女	90	3	病院にて死亡
女	98	4	看取り	女	96	3	看取り
女	89	3	病院にて死亡	退所者平均年齢歳			89.65歳(88.8)
				看取り			昨年度 9名 今年度 6名

### 4. 入居者の年齢構成

(3月末日現在)

	60~	65~	70~	75~	80~	85~	90~	95~	100~	平均	最高齢
	64	69	74	79	84	89	94	99	~		
男	0	0	3	0	6	4	8	2	0	86.7	99
女	0	0	2	5	11	21	24	18	1	89.4	100
計	0	0	5	5	17	25	32	20	1	88.8	

### 5. 入居者の介護度別人数

(3月末日現在)

介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	人数計	平均介護度
26年	8	22	33	35	12	110	3.19
27年	8	16	29	34	17	104	3.34

### 6. 月別入・退所者状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
在籍	101	104	102	100	100	101	99	100	95	99	102	99		19
入院者	6	5	8	8	7	5	6	6	8	2	4	5		
入所	男	1	3	0	0	1	0	0	0	1	3	0	9	19
	女	0	1	2	0	1	1	0	3	0	2	0	10	
退所	男	2	1	1	1	1	0	1	0	0	3	0	10	22
	女	1	1	0	1	0	2	0	2	3	0	2	12	

### 7. 職員の状況

(特別養護老人ホーム、短期入所事業所の合計)

職名	人数		兼務の状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
施設長	1		○	男	介護福祉士、社会福祉主事
事務長	1			女	社会福祉士、衛生管理者
事務員	1			女	簿記検定1級
相談員・ケアマネ	3		○	男	介護支援専門員、介護福祉士
相談員・ケアマネ	1		○	女	介護支援専門員、社会福祉士
ユニットリーダー	1			女	介護福祉士
ユニットリーダー	1			男	介護福祉士、介護支援専門員
ユニットリーダー	4			男	介護福祉士、ユニットリーダー研修
ユニットリーダー	4			男	介護福祉士
介護職	14	6		女	介護福祉士、介護支援専門員(1名)
介護職	9			男	介護福祉士
介護職	3	1		女	介護職員実務者研修
介護職	1	1		男	介護職員実務者研修
介護職	4	17		女	介護職員初任者研修
介護職	1	1		男	介護職員初任者研修
介護職	2	3		女	資格なし
介護職	1			男	資格なし
看護師	1	2		女	看護師、派遣(1名)
看護師	1	2		女	准看護師、派遣(1名)
栄養士	1			女	管理栄養士
介助員		3	○	男	宿直兼務(1名)
宿直員		2		男	
合計	55	38	介護職員 : 入居者数 1 : 1.86		

## 8. 基本目標（重点課題）に対する自己評価

<p><b>特養 基本 目標</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用者一人ひとりの当たり前の生活の為にユニットケアの実践を図り、施設全体にも良い影響を与えられることを目指す。</li> <li>2 職員の質の向上を図り、研修の実施とユニットやフロアに研修内容を浸透させるシステムを作る。</li> <li>3 福祉施設として地域に根ざす。             <ol style="list-style-type: none"> <li>①施設の一部を開放し地域活動に活用していただく。</li> <li>②地域の方々も参加できるような行事を取り入れる。</li> <li>③ボランティアの受け入れの整備。</li> </ol> </li> </ol>
<p><b>重点 課題</b></p>	<p>接遇面において全職員が統一できるようチェックシートを活用する。</p>
<p><b>評価</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 今年度は24hシートの活用を目的に、委員会を立ち上げ、個別の生活を知るツールの基礎を作り上げる事が出来た。シートを作る上で、職員は入居者の生活面を意識し、胃瘻の方が、経口摂取をするという状態を作り上げるなど『観る』力もついてきている。しかし、シート自体が発展途上であり、24hシートの活用がユニットケアの実践として目に見えた結果が出てはいないのも事実である。 今年度はユニット毎の行事が増えた。自分の意思を伝える事ができる入居者だけでなく、その他の入居者も公平に楽しんで頂くという職員の意識は構築できてきたと思う。一方で、職員の接遇の乱れから、各職員の接遇チェックシートやリーダーや相談員を評価する評価シートを導入した。チェックをする事で自身を見直し、接遇への意識も高まり、施設全体の雰囲気は良くなった。しかし接遇の乱れが無くなったわけではない。入居者、そして家族の信用を得る為にも、今後も改善の余地があり、職員のプロ意識の向上が求められる。来年度は、入居者それぞれの生活をより深く知り、軌道にのってきている24hシートを様々な面で活用し、入居者一人ひとりの当たり前の生活を目指していきたいと思う。</li> <li>2 今年度の施設内研修は、外部より講師を招くのではなく、ひかわの職員から講師を選び研修を実施した。講師を担当した事で、自分なりに調べ、内容をまとめる事で、自身の質の向上を図る事が出来たと思う。 研修に参加した内容を共有する点に関しては今後も課題である。研修内容の資料等をユニット内で自由に閲覧できるシステムを構築し、同時に内容を職員間で浸透させるために、内容確認後のサインをする等のチェック体制も整えていきたい。</li> <li>3 ①②に関しては、例年通り目標の達成は出来たと思う。 ③に関しては、納涼祭や敬老会などの大きな行事に加え、各フロアで一つのレクリエーションとして、ボランティアの方々を見つけ依頼するなど、成果はあげられている。ただし、職員や入居者の家族に頼る部分も大いにあるので、今後はボランティアセンターも活用し、入居者が日頃から楽しんで頂けるようなボランティア活動の受け入れを整えていきたい。</li> </ol>

<b>医務室</b> <b>基本</b> <b>目標</b>	1 個別ケアの充実。 ① 看護の質の向上による症状の把握や異常の早期発見 ② 他職種とのコミュニケーションを密に図り、情報共有に努める 2 職員の健康管理・相談につとめる。
<b>重点</b> <b>課題</b>	1、看護の質の向上による症状の把握や異常の早期発見。 2、他職種とのコミュニケーションを密に図り、情報共有に努める。 3、介護職の精神面のサポートの充実を図る。
<b>評価</b>	1 ①早期発見は出来ているも、個々の生活を重視した時に対応が困難と思える時があった。 ②視点の違いで若干のズレが生じていたと思われる。 2 特に問題なく達成出来ており、引き続き継続していく必要あり。
<b>厨房</b> <b>基本</b> <b>目標</b>	(食事サービス部門) 1 ユニット毎での出張料理を行い、入居者の食への関心を高める。また、入居者の目の前で調理を行い、出来立てを食べて頂くことにより、家庭の雰囲気味わって戴けるよう努力する。 2 食材の調理法を工夫し、キザミ食の入居者でも、可能であれば形のまま提供できるように努力する。 3 食中毒防止の為、厨房内の清掃の徹底と、職員の衛生教育及び健康管理に勤める。 4 入居者の嗜好を把握し、定期的な献立の見直しを行うことにより、喫食量の向上と、献立のマナー化防止を目指す。 (栄養管理部門) 1 個々人の栄養状態及び嗜好の把握をする事により、喫食量の向上と健康面の安定を図る。 2 ユニットの特性を生かし、ユニット単位の料理・菓子作りの企画と協力。 3 カンファレンス等により他職種との連携を図り、栄養業務に生かしていく。
<b>評価</b>	(食事サービス部門) 1 ユニット出張料理のたびに喜んで頂いたし、お好きな物も教えていただいた。今後これを生かしていきたい。 2 肉魚に酵素を使い、食べやすい柔らかさでの提供に努めた。これを他の食材にもつなげていきたい。 3 チェック体制の整備がまだ追いついていない。栄養士中心に早急に整える。 4 栄養士の入れ替えにより、献立の見直しが足踏み状態である。 (栄養管理部門) 1 新入居者の速やかな把握が難しかった。 2 ユニットやフロア単位で入居者の笑顔や喜びの声が聞こえる食作りが出来た。又ユニットからの企画も多く上がってくるようになった。 3 カンファレンス等で入居者個個人の食の意向が少しずつつかめてきた。今後食欲がないとき等に生かしていきたい。

## 通所介護事業報告

### 1. 事業概要

特養併設型通所介護事業所として、要介護・要支援者を対象に通常型のデイサービスで日帰り介護をし、在宅での生活が維持できるよう支援しています。また、介護認定非該当でも市から認められた方の利用（生きがい活動支援通所事業）と、要介護認定申請に至らない方向けの「ふれあい教室」事業をさいたま市から受託し、介護予防事業の一端を行っています。

### 2. 月間利用者数

26年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	645	700	693	743	638	705	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	713	677	685	531	591	645	7,966
27年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	657	628	667	694	625	632	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	660	643	676	529	595	616	7,622

### 3. 介護度別利用者数

(3月末日現在)

要介護度	要支援	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
26年度	19	29	12	17	2	1
27年度	17	22	13	17	2	1

### 4. 事業所で特別に行ったこと

- 利用者さんのお誕生日に、お花・写真のプレゼント。
- 新年会、節分、ひな祭り、お花見、夏祭り、クリスマス会などの季節行事。
- 敬老の日前後に、「感謝祭」を開催。他部署の職員にも加わってもらう。
- さつま芋・野菜・花等の園芸活動や、桜・バラ・コスモス観賞のドライブ。
- 各種舞踊やマジック、朗読会などのボランティアをお招き。

## 5. 職員の状況

(3月末現在)

職名	人数		兼務の 状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
相談員(管理者)	1		○	男	介護支援専門員、社会福祉士
相談員	1			男	介護支援専門員、介護福祉士
介護職	3	2		女	介護福祉士
介護職	1	2		女	ヘルパー2級
介護職		1		女	
看護師		1		女	正看護師
看護師		1		女	准看護師
運転手		3		男	普通自
合計	6	10			

## 6.目標に対する評価基本目標(重点課題)に対する自己評価

<b>基本目標 1</b>	介護職員のスキルアップ
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己評価を年2回行い、各職員の技術向上やチームの一員としての自覚を促します。</li> <li>○ヒヤリハット事例集を蓄積し、事故防止に役立てます。</li> <li>○資格取得のための勤務調整を行います。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の常勤職員の自己評価と年1回の個人面談を行い、それぞれの課題を確認することができた。</li> <li>・24件のヒヤリハット事例が集まった。今後もより多くの事例を集め事故防止の意識向上に役立てていく。</li> </ul>
<b>基本目標</b>	サービスの質の向上
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「遊びリレーション」・「選択レクリエーション」を充実します。</li> <li>○「脳トレ・口腔体操」等、介護予防に努めます。</li> <li>○「季節行事・園芸活動」を通して四季を感じてもらい、生活意欲を高めます。</li> <li>○チームワークを高める目的で、ミーティングでの意見交換を大切にします。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択レクリエーションでは「買い物」が好評でした。手作業では、園芸活動で収穫した綿を使い、干支にちなんだ「猿」の人形を作成し西区の作品展に展示しました。</li> <li>・園芸活動では、毎年恒例の「さつま芋」を焼き芋等で提供し多くの利用者から好評をいただきました。また、利用者の方からのご協力で「足踏み式脱穀機」「唐箕」を使用し昔ながらの方法で麦の脱穀作業を行</li> </ul>

	<p>うことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回のミーティングではサービス向上係を作り、「接遇・レク・入浴・排泄」について確認、情報の共有ができた。</li> </ul>
基本目標	広報・営業活動
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月「ほほえみだより」を作成し、デイサービスの様子を伝えていきます。</li> <li>○法人のホームページを活用し、広報に努めます。</li> <li>○当センターの特徴等を、居宅介護支援事業所へ広報します。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ほほえみだより」の作成に現場の介護職が全員関わることで色々な視点からデイサービスの様子を伝えることができた。</li> <li>・ホームページのブログの更新が滞っているので、うまく活用していきたい。</li> <li>・月1回の実績報告時に「ほほえみだより」を持参し広報した。利用のない他の居宅介護支援事業所への広報も積極的に行っていきたい。</li> </ul>



## 訪問介護事業報告書

### 1. 事業概要

在宅で生活している要介護・要支援者に、入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の支援を行っています。また、要介護認定非該当でも市が必要と認める方への家事の援助（生活援助員の派遣事業）も行いました。

### 2. 月間派遣延時間

26年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	270.8	285.3	274.8	304.0	279.5	271.6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	261.8	238.5	238.0	249.0	264.8	264.0	3,202.1
27年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	297.0	296.0	275.0	280.5	323.4	277.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	283.8	311.3	279.9	272.9	232.3	227.3	3,356.6

### 3. 介護度別利用者数

（3月末日現在）

要介護度	要支援	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
26年度	20	14	6	4	2	0
27年度	20	17	5	4	3	0

### 4. 事業所で特別に行ったこと

- 利用者さんのお誕生日にお花のプレゼントを行っています。
- さいたま市からの委託事業で、介護保険要介護認定自立のお年寄りにサービスの提供をしています。

### 5. 職員の状況

（3月末現在）

職名	人数		兼務の状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
管理者	1		○	女	介護福祉士
サービス提供責任者	2			女	介護福祉士
ヘルパー	1	3		女	ヘルパー2級
合計	3	3		女	

## 6. 基本目標（重点課題）に対する自己評価

基本目標 1	職員のスキルアップ
重点課題	隔月のミーティングを通して報告、連絡、相談を行い利用者の在宅環境の変化に気づき安心して在宅生活が行えるようにしていきます
評価	隔月の予定が合わず思うように研修の機会が持てませんでした 利用者の変化などについて随時報告は受け各ヘルパーに連絡は出来ていました。
基本目標	サービスの質の向上
重点課題	個別計画書の随時見直しを行い統一したサービス内容で行なっていきます
評価	計画書については報告、連絡を基にサービスを行えるように致しましたが、個々の判断で行ってしまったこともあり今後さらに注意を促し内容を再確認していくように致します
基本目標	サービスの質の向上
重点課題	自分の役割をきちんと認識し適切に行動が出来る様に努力していきます
評価	各自報告、連絡を行いながら訪問を行っていましたが 利用者の変化について、訪問内容について確認が出来ておらず不備が生じていました

## 在宅介護支援センター事業報告

### 1. 事業概要

在宅で生活しているお年寄りが、日常生活を営むために必要な保健医療サービス又は福祉サービスの適切な利用をすることが出来るよう計画を作成すると共に、市からの事業受託にて独居高齢者等の実態把握や介護サービス啓発のための事業などを行っています。

### 2. 月間利用者延数

26年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	212	218	220	225	230	230	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	227	226	215	212	212	215	2,642
27年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	221	213	207	203	202	200	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	203	207	214	209	203	201	2,483

### 3. 介護度別利用者数

(3月末現在)

要介護度	要支援 1	要支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
26年度	14	10	63	55	45	19	9	215
27年度	15	12	59	49	47	14	5	201

### 4. 事業所で特別に行ったこと

- 介護者サロン(「冬の脱水予防」・「認知症勉強会」・「介護施設の種類」)3回
- 県立大学IP演習参画(10月)
- 公民館出張無料相談会 6回
- 実態把握、地域任意サロンへの参加他、随時民生委員からの相談受付
- 一人暮らし高齢者世帯見守り訪問(随時)
- 民協への広報活動 2回
- ふれあい会食で相談窓口の設置(指扇及び内野地区社協) 10回
- 西区区民まつりへの出展(11月)
- 認知症体験者養成講座「劇団にしく」、西区キャラバンメイト連絡会への参加

## 5. 職員の状況

(3月末現在)

職名	人数		兼務の 状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
センター長（管理者）	1		○	男	主任介護支援専門員
ケアマネ	1			女	主任介護支援専門員 社会福祉士
	2			女	介護支援専門員 介護福祉士
	1			男	介護支援専門員 介護福祉士
		1		女	介護支援専門員 社会福祉士
合計	5	1			

## 6. 基本目標（重点課題）に対する自己評価

基本目標	柔軟性をもったケアマネジャーとなり、あたりまえの生活の支援ができる。
重点課題	1. 職員のスキルアップ
評価	年2回の自己評価で、日ごろの勤務態度や自分の支援業務姿勢について振り返り業務に生かしました。職員相互の長所を学び自分に足りないところに気づけるよう毎週一回の定例会を継続しました。
重点課題	2. サービスの質の向上
評価	市のケアマネジャー協会や市及び市社協主催の研修などへ積極的に参加しました。その研修内容はその直近に行う定例会で報告し職員全員で共有しています。また、退職者と入れ替わりに新任者が就きました。担当ケアマネジャーが代わることは利用者にとって少なからずストレスが生じることを踏まえ、新任者に担当させる利用者を慎重に選択しました。
重点課題	3. 地域の中の事業所として
評価	行政、医療機関等介護事業所以外でも難なく連携がとれるように皆が事業所として連絡を密にしています。一方、今年度は高齢者が増え続けているにもかかわらず、新規依頼件数が伸び悩みました。昨年度、受け入れ件数がいっぱいになり新規を受け控えた時期があり、その影響がありました。地域の集まり等への参加を続け、病院などへ新規依頼促進を働きかけます。

## 地域包括支援センター事業報告

### 1. 事業概要（実績）

	介護予防支援	包括的継続的ケア	ネットワーク構築	その他
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座（西区民生委員協議会全大会）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西区ケアマネ会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西区高齢課定例会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在支出張無料相談会</li> </ul>
5月		<ul style="list-style-type: none"> <li>西区ケアマネ会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指扇地区社協総会</li> <li>地域支援会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括・主任ケアマネ部会</li> <li>GH 愛の家運営推進会議</li> <li>GH 扇の森 WEST 運営推進会議</li> <li>劇団にしく（内野本郷自治会）</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座（びわの会）</li> <li>出前講座（やよい会）</li> <li>出前講座（下宝来）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北部圏域ケアマネ情報交換会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指扇地区ブロック別懇親会（東部）</li> <li>指扇地区ブロック別懇親会（南部）</li> <li>指扇地区ブロック別懇親会（西部・北部）</li> <li>内野地区地域福祉行動計画策定委員会</li> <li>西区地域包括連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括・保健師等部会</li> <li>在支出張無料相談会</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座（さしおうぎ台団地）</li> <li>出前講座（下宝来）</li> <li>出前講座（オーベル）</li> <li>出前講座（にこにこサロン）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北部圏域ケアマネ情報交換会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指扇地区ブロック別懇親会（中部）</li> <li>内野地区地域福祉行動計画策定委員会</li> <li>西区高齢課定例会</li> <li>指扇地区社協会食会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座（宮前中学校）</li> <li>脳トレーニング教室</li> <li>GH 扇の森 WEST 運営推進会議</li> <li>GH みんなの家清河寺運営推進会議</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座（シルバー人材センター）</li> <li>出前講座（のびのびサロン）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域支援会議</li> <li>内野地区地域福祉行動計画策定委員会</li> <li>包括・在支調整会議</li> <li>指扇地区地域福祉関係機関連絡会</li> <li>いきいき運動塾</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GH みんなの家高木運営推進会議</li> <li>在支出張無料相談会</li> <li>地域包括・主任ケアマネ部会</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座（5地区合同敬老会）</li> <li>出前講座（内野地区会食会）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北部圏域ケアマネ情報交換会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さわやかサロン</li> <li>地域支援会議</li> <li>西区高齢課定例会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座（土屋中学校）</li> <li>地域包括・保健師等部会</li> <li>GH 扇の森 WEST 運営推進会議</li> <li>地域包括・社会福祉士部会</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき運動塾</li> <li>さわやかサロン</li> <li>サロンひかわ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北部圏域ケアマネ情報交換会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指扇地区地域福祉講演会</li> <li>指扇地区会食会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座（上郷自治会館）</li> <li>認知症サポーター養成講座（木ノ下自治会館）</li> <li>在支出張無料相談会</li> <li>GH みんなの家清河寺運営推進会議</li> <li>認知症サポーター養成講座（与野西中学校）</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき運動塾</li> <li>さわやかサロン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症ケア会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西区ふれあい祭り</li> <li>西区地域包括連絡会</li> <li>指扇地区社協ネットワーク部会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GH 扇の森 WEST 運営推進会議</li> <li>認知症サポーター養成講座（西区役所）</li> <li>GH 愛の家運営推進会議</li> </ul>

				<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括・主任ケアマネ部会</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>さわやかサロン</li> <li>出前講座（下宝来）</li> <li>出前講座（コーヒーサロン）</li> <li>出前講座（寿亀クラブ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西区高齢課定例会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括・保健師等部会</li> <li>在支出張無料相談会</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき運動塾</li> <li>出前講座（下宝来）</li> <li>出前講座（木ノ下自治会婦人部）</li> <li>出前講座（さわやかサロン）</li> <li>出前講座（にこにこサロン）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>包括・在支調整会議</li> <li>地域支援会議</li> <li>指扇地区社協ネットワーク部会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座（レストヴィラ西大宮）</li> <li>GH扇の森 WEST 運営推進会議</li> <li></li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座（いきいき運動塾）</li> <li>出前講座（さわやかサロン）</li> <li>出前講座（白寿クラブ）</li> <li>出前講座（梅園会）</li> <li>出前講座（西区老人会婦人部）</li> <li>出前講座（オーベル）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西区高齢課定例会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西区ケアマネ会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>包括・在支調整会議</li> <li>地域支援会議</li> <li></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座（指扇中学校）</li> <li>地域包括・保健師等部会</li> <li>認知症サポーター養成講座（新屋敷）</li> </ul>

## 2. 月間利用者数

26年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	273	295	298	305	313	317	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	321	327	319	316	328	329	3413
27年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	338	343	351	349	349	358	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	362	366	369	372	365	376	4298

## 3. 職員の状況

職名	人数	兼務の状況	性別	資格
	常勤			
管理者・社会福祉士	1	○	男	社会福祉士 介護支援専門員
社会福祉士	1		女	
主任支援専門員	3		女	介護支援専門員 介護福祉士
支援専門員	1		男	
看護師	2		女	看護師 介護支援専門員
合計	8			

#### 4. 基本目標（重点課題）に対する自己評価

基本目標 1	介護者への支援を充実します。
重点課題	①介護者サロンの開催場所を増やします。 ②介護者サロンへの参加者数を増やします。
評価	今年度はおおみや診療所と内野公民館の2か所で新たに開催することができた。参加人数も増えている。
基本目標 2	消費者被害防止の啓発。
重点課題	自治会や老人会へ訪問し、消費者被害について情報提供を行い被害の防止に努めます。（年10回）
評価	27年度より西警察署よりFAXにて振り込め詐欺等の情報を提供していただくことができ、その情報をタイムリーに老人会等へ提供することができた。その他、圏域のケアマネジャーに対し情報提供を1回行うことができた。